



世界 YMCA/YWCA 合同祈祷週

**こわれたものからの美しさ**

2021.11.7 ~ 13



WORLD  
**YMCA**

# こわれたものからの美しさ

世界YMCA／YWCA合同祈祷週2021  
2021年11月7日（日）～13日（土）

2021-2022年聖書日課



## 目 次

世界YWCA会長、世界YMCA会長からのメッセージ .....	4
祈祷週間を共に祈りましょう！ .....	6
この冊子の使い方 .....	6
皆さんからの声をぜひお聞かせください！ .....	7
第1日目 美しさとは神によって愛されること .....	8
第2日目 美しさとはいやしであり修復されること .....	18
第3日目 美しさとは尊厳と包含である .....	26
第4日目 美しさとはゆるしである .....	35
第5日目 美しさは他者に仕えることにある .....	44
第6日目 美しさとはよみがえりである .....	52
2021年合同祈祷週：“こわれたものからの美しさ” 集団礼拝 .....	60
聖書日課 2021年－2022年 .....	68

## 世界YWCA／YMCA両会長からの 共同メッセージ

新型コロナウイルスの荒波やそれが引き起こしたあらゆる痛みと混乱を乗り越えつつ、とりわけワクチンが世界的に利用できるようになるにつれて、私たちはコミュニティの中に希望の光と回復力を目の当たりにしてきました。この感染症のパンデミックは私たちのYWCA／YMCAに深刻な影響を及ぼしてきました。部分的には、私たちはこわれてしまいましたし、部分的には、私たちはかけらをつないで再び元通りにしつつあります。私たちのものごとへの取り組み方は変わってしまったのかもしれませんが、しかし私たちの目標は同じままです。

「こわれたものからの美しさ」が、今年の世界YWCAと世界YMCAの合同祈禱週と世界フェローシップのテーマです。私たちのキリスト教基盤の物語は、私たちが、土から作られ、美しいものに形作られ、時に私たちがこわしてしまう、土器のようだということです。私たち一人ひとりが私たちの中に神の光を含めることができるのです。このこわれたものをいやし、そして他者に手を差し伸べることができる光です。

使徒パウロはこう記しています。「…私たちは、この宝を土の器に納めています。計り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかになるためです。私たちは、四方から苦難を受けても行き詰まらず、途方に暮れても失望せ

ず、迫害されても見捨てられず、倒されても滅びません。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』第二コリント4:7-9）。

祈祷週の間、私たちは自らの新型コロナウイルスの影響下にある生活がもつ多くの側面について、深く考えることとなります。いやしと修復（回復）について、自らのコミュニティに仕えることについて、ゆるしや包括性、そして尊厳についてです。今年、私たちは、自らが共に創られた未来へと向かうのに極めて重大な、2つの決定的な問題についても深く考えます。適正な労働環境の必要性と、気候正義の必要性です。

YMCAとYWCAは、公正な世界のために努力し続けています。私たちは、宗教や人種あるいはジェンダーに関わらず、一人ひとりが満たされたいのちを満喫し、平等性に基づいて尊厳のうちに生きる、人々のコミュニティを思い描いています。

この合同祈祷週とフェロシップの間、私たちは世界中の全ての会員や、私たちの友人と協力者に対し、精神を一つにして集まり、私たちのための神の無条件の愛について深く考え、自らのものとして全ての人々を愛するという私たちの責任を新たにすよう、招くものであります。

世界YWCA会長  
ミラ・リゼック

世界YMCA同盟会長  
パトリシア・ベルトン



## 祈禱週間に共に祈りましょう！

YWCAとYMCAは1904年以来共に協力関係をもって、合同祈禱週を企画してきました。この冊子を用いて、今年は2021年11月7日から13日まで、共に祈りましょう。

個人で参加してくださってもけっこうですし、あるいは小さなグループを作って、一緒にその短い祈りを毎日続けてくださってもけっこうです。

合同祈禱週は、6つの日々の祈りに加えて、7日目の任意の集団礼拝からなっています。

### この冊子の使い方

#### 第1日目から第6日目まで：

各日とも「こわれたものからの美しさ」がもつ異なる側面を探求し、聖書朗読と「はじめに」、解釈と応用、設問と黙想のポイント、そして恵みについての祈りからなっています。

もし時間があればその日のうちに終わられる、創作の行動ないし活動もあります。

もしあなたがグループを指導するのであれば、通読して祈り、そしてあらかじめ備える時間をいくらかでもかけてください。グループのさまざまなメンバーにある箇所を読んでもらってください（例えば聖書朗読、祈りなど）。

バーチャルグループ：もしオンラインでグループを作るつもりであれば、各日の祈りのために凝縮されたパワーポイントのファ

イルをダウンロードできます。それは[www.ymca.int/week-of-prayer](http://www.ymca.int/week-of-prayer)で利用できます。

**第7日目：**一部のYWCAやYMCAは、この週を集団礼拝で締めくくります。皆さんが自らの地域で自らの礼拝を計画するための枠組みを用意しました。

11月12日（金）中央ヨーロッパ時間で16時（日本時間で24時）から、世界YMCAのフェイスブックのページで、礼拝がリアルタイムに配信されます。この礼拝もまた第7日目の形式に基づくこととなります。

この冊子の最後に、2021年12月から2022年11月まで聖書日課を用意しました。これがその年を通じたあなたの聖書の通読に役立つことを望みます。

## **皆さんからの声をぜひお聞かせください！**

準備期間とこの週の間、皆さんの計画や証し、そして個人やグループの感想や体験を、#WWOP21というハッシュタグを使ってソーシャルメディアで伝えてください。



## 第1日目 2021年11月7日（日）

### 美しさとは神によって愛されること

神は愛であり、私たちを見ておられ、私たちをご存じであり、そして私たちにまで及んでおられます。私たちがどのように感じ、あるいはどこにいるかに関わらず。

[詩編139編]

#### はじめに

「主よ、あなたはわたしを探り、わたしを知りつくされました。」  
(日本聖書協会『聖書 口語訳』)

何と素晴らしい詩編の読み始め方でしょう。神が私たちのなすことを全て、私たちの感じることを全て、そして私たちの考えることを全て、良きにつけ悪しきにつけ、ご存じであり、そしてとにかく私たちを愛してくださっていることを思い出させるものです。それは、たとえ私たちが神の基準に及ばなかったとしても、神が私たちに永遠の愛を示してくださるという、キリスト教の大切な部分です。

今週のテーマは、「こわれたものからの美しさ」で、今日のトピックは「美しさとは神によって愛されること」です。さて、こわれたものというのは、いくつかのことのうちの一つを意味するかもしれません。それは私たちの罪かもしれませんが、神は私たちを愛しておられるので、それを神はおゆるしくくださいます。それは苦しみかまたは他者の罪によって引き起こされる痛みか

かもしれませんが、神は私たちを愛しておられるので、それを克服するのを助けてくださいます。それは私たちがいかに神に及ばないかに気付くことからでさえあるかもしれませんが、その時点で神はご自身の力強い愛で作り直し私たちを強めてくださいます。

今日の学びの過程で、私たちは、神が私たちについて全てご存じであり、私たちの状況がどうであれ、神の愛から私たちを引き離すことはできないこと、そして私たちを常にご覧になっておられ、私たちが幸せでも、悲しんでいても、孤独でも、怒っていても、私たちがどんな気持ちであるかに関わらず神は常に私たちと共におられ、私たちがどんな状況にあっても私たちを愛してくださるということを考える時間を過ごします。

### **解釈と応用**

私たちの多くは昨年、隔離とロックダウンの中で時を過ごしました。私たちはそうするように政府か医師に言われたのかもしれませんが、あるいはたぶんそれはそうするのが単に最も安全なことだったのでしょう。あなたは独りでいたりあるいは生活をともにする人とだけ一緒にいた間に、自分の習慣が変わりましたか？

毎日服をちゃんと着ましたか？ 髪を整えて化粧をしましたか？ 通常と同じく早起きましたか？ 持ち帰り用の食べ物を注文することが増えましたか？

隔離かロックダウンのうちにある私たちの多くにとって、自らの習慣は確かに変わりました。私たちが自らの外見に費やす時間が減ったのは、誰も私たちを見ることができず、誰も私たちに注意を払っていなかったからです。けれども私たちキリスト者にとっては、それは本当ではありません。神が私たちをご覧になっておられます。この詩編の第3節にはこう書かれています：

「旅するのも休むのもあなたは見通し／私の道を知り尽くしておられる。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』）

さて、ここでの提案は、私たちが家の中にいる時、そこに神がおられるからといって、みんなで一番いい服を着ましょうということではなく、それよりずっと前向きで喜びに満ちたアイデアです。

私たちが長い間自分たちだけにいる時、見られていないとか、愛されていないと感じ始めるかもしれません。でも神はいつも私たちをご覧になっておられますし、そして驚嘆すべきことに、いつも私たちを愛しておられるのです。

第16節にはこう書かれています：

「胎児の私をあなたの目は見ていた。／すべてはあなたの書に記されている／形づくられた日々の／まだその一日も始まらないうちから。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』）

それは驚きではありませんか？ 神は私たちがしようとするこ  
とや考えようとするをご存じであり、私たちがどれだけ頻  
繁につまづいて間違っただけををってしまうのかをご存じであ  
り、そしてたとえそうでも、神はこれまで誰も示してこなかつ  
たような最大の愛をもって私たちが愛してくださるのです。

「砂の上の足跡」と呼ばれる、有名なキリスト教の詩がありま  
すが、それは砂浜を歩く、神の足跡と私たちの足跡という、2  
組の足跡のイメージを用いています。困難な時に一組が消え、  
そして私たちが必要な時に神が私たちをお見捨てになったのか  
どうか考え始める時、見えるほうの一組の足跡は、苦難の時に  
私たちが背負って歩いてくださった神のものであるということ  
を、この詩は私たちに思い起こさせてくれるのです。

この詩編の第7節から10節は次の通りです：

「わたしはどこへ行って、あなたのみたまを離れましょうか。  
わたしはどこへ行って、あなたのみ前をのがれましょうか。

わたしが天にのぼっても、あなたはそこにおられます。わたし  
が陰府に床を設けても、あなたはそこにおられます。

わたしがあげぼのの翼をかって海のはてに住んでも、

あなたのみ手はその所でわたしを導き、あなたのみ手はわ  
たしをささえられます。」（日本聖書協会『聖書 口語訳』）

この節は、神の愛が持つ包括的な特質について語っているものです。ローマ書で私たちは、何も神の愛から私たちを引き離すことはできないということを学びます。たとえもし私たちが神の愛から離れようとする状況に陥ったとしても、私たちにはできません。それだけ神は力強く、神の愛は力強いのです。この感染症のパンデミックはつらく、民としての、またイエスに従う者たちとしての私たちの前に多くの課題をもたらしてきましたが、でももし私たちが神のそばにとどまり、そして神の愛のうちにとどまるならば、その時私たちは神の支えをもってそれらを克服することができるでしょう。

私たちの苦難には理由があることが多いですし、それに困難な時に神がどこにおられたのかを振り返って理解することが大切です。上記の足跡の詩は、たとえもし私たちにはそれがその時わからなくても、神は私たちを切り抜けさせてくださるのだということ私たちに教えてくれます。この冊子をまとめたグループの1人は、自らが大学で2年半学んだ後に中退し、自分が落ちこぼれになってしまったと強く感じていた時期のことを思い起こしました。当時のその人にとって、神がどこにおられるのか、そしてなぜ人生のその道がうまくいかなかったのかを理解するのは難しいことでした。でも振り返ってみれば、その人が愛されているとも実際に見てもらえているとも感じなかったあの困難な状況は、全て神のみ手の内であったのであり、そして神の愛がその人を大学から自らの愛する職業へと導いたのです。

困難な時を思い返す時、以下のいくつかの形で神が見えてくる

かもしれません。たぶん神はもっと悪い状況から私たちをお救いになっておられたのか、または私たち自身について何かを私たちに教えておられたのか、あるいは私たちの行いを変えるよう私たちの背中を押しておられたのか、それとも他の何かでしょう。私たちがこわれたように感じる時、神の愛はそれでもなお私たちを包んで私たちを導き、私たちに慰め、そして私たちに教えているのです。

神の愛について黙想する最後の考察のために、第14節を見てみましょう：

「あなたに感謝します。／私は恐れ多いほどに／驚くべきものに造り上げられた。／あなたの業は不思議。／私の魂はそれをよく知っている。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』）

この節は、私たちがみな固有のものとして創られ、そして神の目において尊いことを、私たちに思い起こさせてくれます。私たちが自らの母親の胎内で編んで作られたまさにその時から、神の愛が私たちのうちに働いているというこの認識は、私たちが何を経験をしているかに関わらず、何が私たちを破ろうとしていようとも、神の永遠の愛を通じて私たちはそれらを克服できると信じる力を私たちに与えてくれるのです。

誰が何と言おうと、一人ひとりの人間は、苦勞も賜物もそれぞれにある特徴もすべて含めて、神様に知られ、高く評価されている特別な存在なのです。神様は、人生のあらゆる浮き沈みの

中で、私たちと共に歩むことを約束してくださいました。困難を克服するために神さまが助けをくださることもあれば、歩き続けるための力と信仰が与えられることもあるのです。ですから、私たちが苦悩している時、神は私たちが何らかの形で克服できる苦悩を通じてしか私たちに厳しく試されることはないのであり、そして神を信頼することを通じて、それらの苦悩がずっと楽になるのだということを、忘れないようにしましょう。

### 設問と黙想のポイント

- ・あなたが神によって愛されていると初めて感じたのはいつでしたか？
- ・この感染症のパンデミックの間に、神をより身近に、あるいは神からさらに離れてしまったと感じたことはありますか？
- ・神が私たちのなすことや考えることを全てご存じだというのは、良いことでしょうか、それとも恐ろしいことでしょうか？
- ・私たちは人生が困難になる時、神を信頼するのが得意でしょうか？
- ・今日の学びを終えるにあたって、どんなにあなたがこわれたと感じていても、神があなたを愛しておられることを、いつも忘れないでください。

### 恵みについての祈り

天にまします父なる神よ、  
間違いをしてしまったのが私たちである時でさえも、日々私たちに示してくださるあなたの愛に感謝いたします。

私たちの罪のために十字架で死なれた御子イエスをお遣わしになった驚くばかりの御業に感謝いたします。

この感染症のパンデミックから抜け出し続けるにあたって、たとえ世界が暗闇に覆われているように見えている間でも、あなたがとても多くの人々のために備えを下されたことを、そして私たち皆にあなたの愛を示してくださったことを、心から感謝いたします。

なぜならその暗闇があなたにとって暗くはなく、あなたがそれを見通しておられ、あなたが私たちや私たちの心や私たちの苦悩や私たちの個人的な状況を見てくださり、私たちにあなたのみ光とお導きをお与えくださり、私たちがその暗闇を通じて自らの道を見出すことを、私たちは知っているからです。

そして私たちがあなたにあってもっている、暗闇から抜け出す道はあるのだという永遠の希望に感謝いたします。そして私たちがそこへたどり着く歩みを進め、他の皆のためにそれをさらにもっと明るくするのを助けるよう祈ります。

あなたは素晴らしい神です。そして私たちは日々あなたの愛に感謝いたします。

アーメン。

**創作の行動／活動**



今日の祈りの応用として、次の活動か行動のうちの一つかそれ以上を選んで実践しましょう。

1. 個人的につくられたメッセージを友人か隣人のためにまとめて、安全なかたちでそれをその人たちに伝え、あなたがその人たちのことを想っていることを示しましょう。  
もしそれがあなたの地域でコロナ対策上安全であれば、これはその人たちのドアに届けられる手書きの短い手紙かもしれないし、あるいは文章か、または、もしあなたがもっと長い話をするのが楽しければ、電話かもしれない。
2. もしあなたがもっと創造的なタイプの人であれば、あなたのメッセージを下記の例のように飾ることもできるかもしれません。
  - あなたのメッセージの中に聖書の一節を含めることは、本当に力強いものとなるかもしれません。それはあなたが喜んで自らの信仰を伝えることを示すものですし、そしてもちろん聖書からのメッセージは、人間である私たちからくるメッセージよりもっとインパクトのあるものとなりうるでしょう。
  - 自分の聖句を選ぶ時は時間をかけましょう。もし相手の人を良く知っているのであれば、その人たちが何で苦悩しているのかについて考え、もしそうでなくても愛の積極的なメッセージを送るのに使える素晴らしい聖句がたくさんあります。

いくつかの例を挙げると：

「恐れるな、私があなたと共にいる。／たじろぐな、私があ

あなたの神である。／私はあなたを奮い立たせ、助け／私の勝利の右手で支える。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』イザヤ41:10）

「たとえ死の陰の谷を歩むとも／私は災いを恐れない。／あなたは私と共におられ／」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』詩編23:4）

「すべて重荷を負って苦労している者は、私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』マタイ11:28）

メッセージや手紙を通じてこのように聖句を伝えて神の愛を他の人たちに伝えることは、とてつもなく力強い奉仕の形となりえます。というのも、あなたがその人たちを気遣って愛していることが人々にわかる時、その人たちにはあなたに反映された神の愛がわかり始めるからです。

今日の祈りの結果として出てきた皆さんの計画や証し、そして個人やグループの感想や体験を、#WWOP21というハッシュタグを使ってソーシャルメディアでどうぞ伝えてください。

チーム：マシュー・マロック（スコットランド）、エドウィン・マブリザ（ジンバブエ）、フランクリン・プラシヤンス（インド）、アイボリー・マニオ（フィリピン）、セン・ムン・パン・マジ（ミャンマー）

## 第2日目 2021年11月8日（月）

### 美しさはいやしであり修復されること

私たちが自らのこわれたものをもって神に近づく時、神は安息と修復そしていやしをもたらしてくれます。

[マタイ11:28-30、詩編34:18、詩編147:3]

#### はじめに

世界は新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって、さまざまな形で、揺るがされてきました。私たちの多くは、困難に直面し、おそらく、それがもたらした異なる重さのトラウマやこわれた状態のままに置き去りにされています。私たちの中には、両親や友人、同僚、きょうだいを失ってしまった人たちも多くいますし、あるいは少なくとも誰かを失った人を直接知っているでしょう。私たちの一部は病気にかかってきており、私たちのほとんどは自宅に閉じ込められてきており、そして自らの仕事や事業を失った人たちさえも多くいます。多くの女性たちや少女たち、そして子どもたちが虐待に苦しんできました。孤立は、多くの人のメンタルヘルスに影響を及ぼしています。愛する人たちとの関係は、ロックダウンの状況によってこわれてしまったかもしれません。つまり、この感染症の世界的拡大によって私たちが家族や友人たちと集まるのが妨げられてきたということです。厳しいロックダウンの規制によって、多くの人たちが私たちの礼拝の場所に行くことができませんでした。私たちはお金の面でも、身体的にも、感情的にも、そして霊的にも、こわされてきてしまいました。

これほどまでにひどいこわれ方は、他にはありません。神は修復をし、いやし、そして私たちの困難を担うことを望んでおられます。マタイ11:28-30において、イエスは私たちを慰めて、こう言われます：

「すべて重荷を負って苦勞している者は、私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。私は柔和で心のへりくだった者だから、私の軛（くびき）を負い、私に学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に安らぎが得られる。私の軛は負いやすく、私の荷は軽いからである。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』）

## 解釈と応用

この感染症のパンデミックは、健康上の危機をはるかに超えるものです。つまり、それは未曾有の社会的・政治的および経済的な危機でもあり、なかなか治らないほどの深い傷を残すような影響をもたらしているのです。けれどもその次に何かあるのでしょうか？ 神はこわれた人たちを愛してくださり、そして私たちと共に私たちの重荷をすすんで分かち合ってくださいます。この聖句にある軛のイメージは、重荷を分かち合うことに関するものです。

マタイにおいて、イエスはご自身に直接近づくよう私たちを招いておられます。つまり、

「私のもとに来なさい」というのは、文法的には招きであり、

命令ではありません。世界のどの人でもイエスのもとに来て助けを求めることができるのです。私たちの問題が何であれ、イエスは私たちの声を聞いて私たちを助けようと待っておられるのです。彼はいつも私たちのすぐそばを歩いてくださると約束しておられるのです。マタイにおけるイエスは、またの名をインマヌエルといい、それは「神が私たちと共におられます」という意味です。神でありインマヌエルであるイエスは、私たちをがっかりさせたりしない神なのです。彼こそが、詩編の作者の言葉でいえば、「ご自分を呼ぶ人皆に／まことをもって呼ぶすべての人に近くおられ」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』詩編145:18）る方なのです。

「すべて重荷を負って苦勞している者」—私たちは重荷を負って苦勞していることがよくあります。もしあなたにこういう経験がなければ、あなたは運がいいと思っていいでしょう。私たちは自らの失敗や、欠点のある人間性、そして自らの罪の重荷を負っているのです。イエスは私たちの魂のために真の平和と安息、そしてアイデンティティを約束してくださっているのです。神は私たちが疲れていることをご存じなのです。ですから、イエスにおいて安息と修復の約束が与えられているのです。この与えられたものは誰に対する強制でもなく、それに自らを開き、すすんで神に私たちの人生を思い切って変えていただく全ての人たちに開かれているのです。

「私は柔和で心のへりくだった者だから」

あなたはいま、自分がこわれたと感じる何かで苦悩していますか？ それを神にお伝えしましょう。イエスは柔和で心のへり

くだった、私たちを自らの苦悩の中で歩ませてくださり、私たちの苦しみを分かち合ってください方なのですから、彼の助けを求めましょう。イエスにおいて、私たちは誰も追い返すことがなく、むしろ私たちの中で最も小さき、失われた、最後の者を、いのちを与え人生を変えるかたちで包容する、その無条件の愛と出会うのです。

「あなたがたを休ませてあげよう／あなたがたの魂に安らぎが得られる」

神のいやしがもつ美しさは、神が、この世界がもたらすかもしれないいやしのように、私たちの外面的な症状をいやして下さるだけでなく、私たちの内面的にこわれたものも、いやして下さるということです。それは健全さをもたらすいやしなのです。

あなたがまだ感じている傷についてよく考えてみてください。息を吸って、新型コロナウイルスがあなたの心や、あなたのポケットや、そしてあなたの人生に残したかもしれない跡について、よく考えてみて、どこにあなたが神のいやしを必要としているのか、考えてみましょう。ちょうど車の事故みたいに、といてもその車は修理を終えたかもしれませんが、その事故が乗客に引き起こした後遺症としてのトラウマがまだあります。恐れずに、いやしの機会があなたにはまだ必要かもしれないということを受け入れてください。

イエスは健康な人たちのところに来たのではなく、病人のところへ来たのです。マルコ2:17で、イエスは言われました。「医者を必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。私が来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである」(日

本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』)。罪人として、私たちをいやして修復してくださるよう、神に求めましょう。ケンブリッジ英英辞典は、修復という言葉を、「何かをそれより前の良い状態かまたは立場、あるいはその持ち主のところへ戻す行為または過程」と定義しています。

神は私たちのこわれた部分を再び健全にしてくださることがお出来になります。これが修復という美しさなのです！

さなぎから出てきてチョウになるいも虫のように、痛みを伴うかもしれませんが、でもその結果はそれだけ価値のあるものとなるでしょう！

神は私たちの上に働いておられ、そして私たちの苦悩を通じてでさえ、より良い、より強い、完成した人たちになってほしいと願っておられます。「あなたがたの間で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までにその業を完成してくださると、私は確信しています」（フィリピ1:6）。

この感染症のパンデミックの後、生活は元通りには戻らないかもしれませんが、でもキリスト者として、私たちの魂はキリストにおいて平安と喜びを見出すことができるのです。私たちの苦悩を通じて働いておられるイエスは、私たちの益のために苦悩し、こわれたものからの美しさをもたらすのです（ローマ8:28）。

## 黙想のポイント

- ・さまざまな問題に直面している時、解決を求めるために、あなたが最初に向かう人は誰ですか？
- ・神がどこにでもおられ、そしてあなたを助けようとしておられることをあなたが学んだ今、それはあなたと神の関係にどのように影響するのでしょうか？
- ・あなたは今、こわれたと感じる何かで苦悩していますか？（これを祈りのうちに神にお伝えしたいと思われるかもしれませんが）
- ・神があなたかまたは他の人のこわれたものをいやすことについて伝えることができる体験談を何かお持ちですか？

### 恵みについての祈り

主イエスよ、私たちはあなたに感謝したいと思います。なぜならあなたは素晴らしく、そしていつくしみ深いからです。私たちはあなたがなざりそして語られた全てのことのためにあなたに感謝します。マタイ11:28-30であなたがお与えくださった招きに感謝します。あなたは神の国を現わしに来られ、罪とその結果からの救いを私たちにお与えくださいました。どうか神よ、自らのこわれたものを受け入れ、自らの傷を認める勇気を私たちにお与えくださり、自分では治すことのできない傷を見極めることのできる精神を私たちにお与えください。私たちの心をいやし、そして私たちの傷を包むために、神よ、あなたが必要なのです。私たちは未来が、私たちが、そしてコミュニティが、共に元通りになるよう祈ります。あなたがいつもいて下さり、すすんでいやしては私たちの困難を抱えて下さることを、私たちは知っています。あなたが私たちにお与えくださる平和



と安息を、あなたに感謝します。  
イエスの御名によって、アーメン。

### 創作の活動／行動

今日の祈りの応用として、次の活動か行動のうちの一つかそれ以上を選んで実践しましょう。

1. あなたが重荷を負って苦勞していると感じている時に、どの聖句があなたに慰めを与えてくれますか？ それをあなたの友人や家族、そして同僚に伝えてみましょう。ソーシャルメディアを自由に使ったり、またはあなたの知っている人たち宛てに手紙か短い文を書いてみましょう。なぜなら、誰かがどこかでそれを聞いたり、慰められもする必要があるからです。
2. いくらか時間をかけて神とつながり、神のみ前にあなたの傷跡や傷を示してみましょう。神がどのようにわたしたちを健全にしてくださるのかについて考えるのに役に立つ音楽をかけてみたいと思うかもしれませんね。
3. 歌の案：Casting Crowns-Broken Together（キャスティング・クラウンズ「共にこわれて」）

今日の祈りの結果として出てきた皆さんの計画や証し、そして個人やグループの感想や体験を、#WWOP21というハッシュタグを使ってソーシャルメディアでどうぞ伝えてください。

チーム：ミアリー・ソムビニアイナ（マダガスカル）、ラコトンドラソア（マダガスカル）、マルティナ・フーバー（スイス）、ジンタ・

アクポコ(ナイジェリア)、サンティアゴ・デュアルテ(コロンビア)

### 第3日目 2021年11月9日（火） 美しさとは尊厳と包含である

イエスは「疎外された者」を包含して尊厳を与えるために行動し、文化の違いを超えジェンダーによる違いを超えて手を差し伸べます。

[ヨハネ4:4-26]

#### はじめに

#### 分け隔て。排除。恥辱。

世界中で、そして私たち自身のコミュニティで、私たちは自らがいかに分け隔てられているかがわかります。どこへ行っても、身内とよそ者がいるように見えます。時には、私たち自身がのけ者となり、排除の痛みを感じてきたこともあります。人類が求めて渴き切望しているものとは何でしょうか？ それほど明らかにこわれたものを、最終的に直すものとは何でしょうか？

神は預言者エレミヤを通じて言われました。「わが民は二つの悪をなした。／命の水の泉である私を捨て／自分たちのために水溜めを掘ったのだ。／水を溜めることもできない／すぐに壊れる水溜めを。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』エレミヤ2:13）

自分たちのための水溜めに固執する限り、私たちは社会としても個人としても苦悩し続けることでしょう。神なくしては、私たちはこわれてしまい、自らを元通りにすることができないの

です。ここでの良き知らせとは、神が私たちの心を直し、私たちを分け隔てる全てのものをいやしに来られたということです。イエス・キリストを通じて、神はいやしの生ける水をくださり、そして疎外された人たちを迎え入れて、排除された者たちの尊厳を回復してくださるのです。

## 解釈と応用

あなたは砂漠を訪れたことがありますか？

サハラ砂漠からゴビ砂漠、デスバレーに至るまで、砂漠は強烈な暑さや起伏の多い地形で私たちを驚嘆させます。けれども砂漠は危険でもあります。もしあなたが砂漠へ行ったことがあるのなら、水筒を携帯することがどれだけ大切か知っているでしょう。脱水はすぐにでも起き、疲れた旅人を参らせることもありえます。砂漠にしかないような類の渇きもあるのです。聖書の中で、ダビデはユダの荒れ野にいた時、神に向かって叫びました。「魂はあなたに渇き／体はあなたを慕います／水のない乾ききった荒れ果てた地で。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』詩編63:1）

もちろんダビデは渇き水を求めることが何を意味するのかを知っていました。それでもなお彼はこの描写を用いて、自らが砂漠で知ったものよりもさらに深い次元の渇きを描いているのです。

「井戸の女」はまさにそういうお話です。ヨハネの第4章には、

聖書の時代に典型的な場面があります。一人の女性が水を汲みに来たのですが、でもそれはほんの始まりにすぎませんでした。今日の聖書の箇所は水を求めることから始まりますが、実はそれ以上のことを伝えています。

最初に、それは文化的な分け隔てとジェンダーの障壁によって規定された物語です。これが明らかになるのは、その女性がやって来てイエスという名の男性が彼女に水を飲ませてくれるよう頼む時です。彼はユダヤ人で彼女がサマリア人なので、彼女は彼が自分に話しかけていることさえ信じられないのです。

ユダヤ人とサマリア人は長い間お互いを軽蔑していました。何百年もの間、彼らは戦い、無視をし、お互いにけなしあっていました。とりわけユダヤ人はサマリア人の隣人を侮蔑していました。彼らはサマリア人を雑種とか犬と呼んでいました。旅をする時、彼らはサマリアを通過して旅をするよりも、むしろわざと回り道をしてサマリアを迂回していたのでした。

ですから、イエスがこの女性に水を飲ませてくれるよう頼むというのは言うまでもなく、サマリア人の井戸にいるというのがそもそも私たちには驚きなのです。そしてそれがもう一つの問題なのです。彼女はサマリア人だというだけでなく、女性でもあるのです。

当時その地域では、女性たちは二流の市民として扱われることが多かったのです。一部のユダヤ人の男たちはその日の初めに

こう祈ってすらいました。「おお神よ、あなたをたたえます。私を異教徒にも奴隷にも女にもお創りにならなかったのですから」。おそらく使徒パウロはこれを念頭にこう記したのでしょう。「ユダヤ人もギリシア人もありません。奴隷も自由人もありません。男と女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』ガラテヤ3:28）

いずれにせよ、女性たちはいつも男性たちに軽んじられては無視されていました。残念なことに、それは今日でもなお多くの場所で変わりません。この「井戸の女」から2000年経ちましたが、彼女の状況はいまだにとってもありふれたものなのです。

ところがこれらの最初の障壁の下に、さらに深い傷や分け隔てがあるのです。

この女性には秘密があります。彼女の経歴の一部が、彼女にあまりに多くの恥辱を負わせるので、彼女は人に見られない真昼にその井戸へやって来るのです。昼時の暑さで他の人たちがいつも寄り付かず、そしてこれによって彼女がジロジロにらまれたり悪口を言われたりせずにはすむからです。彼女の話について詳しいことは私たちにはわかりませんが、でもこの女性は結婚と離婚を繰り返しており、そのことによって、あざ笑われて苦しめられたのでした。

私たちがこれを発見するのは、イエスが彼女に自分の夫を連れ

戻すよう求め、彼女にこれまで5人の夫がいたことを明らかにする時です。

その瞬間に、この話の本当の深さが明らかにされるのです。彼女はただ水を求めて井戸にいるだけではないのです。彼女は単なるサマリア人でも女性でもありません。彼女は愛を求めて乾いている人なのです。本当の愛です。神からのみ来ることができる愛です。

表面的には、今日の社会にはたくさんの問題があります。私たちは人種やジェンダー、そして多くの他の違いによって分け隔てられています。それに加えて、私たちはみな感染症のパンデミックを経験し、それによって大きな苦悩や崩壊、そして絶望が引き起こされてきました。私たちの中には、愛する人たちを失った人たちもいます。この「井戸の女」とごく同じように、孤立や孤独を耐えてきた人たちも多くいます。それでもイエスは私たちの奥深くに必要なものをわかっておられるのです。

この女性と彼の交流が意味深いのです。つまり、

彼が彼女に会います。

彼が彼女に語りかけます。

そして彼が彼女に飲むための生ける水を与えます一神に対する彼女の関係を修復するために。

彼は言われます。「私を与える水を飲む者は決して渴かない。

私が与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水が湧き出る。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』ヨハネ4:14）

これらの言葉において、どの障壁も克服され、そしてどの切なる願いも満たされるのです。この井戸の女に関して言えば、彼女は完全に変えられるのです。彼女の罪がゆるされ、彼女の尊厳が取り戻され、彼女が神の家族のちゃんとした一員に含められるのです。

この話の終わりまでに、拒絶されていたこの同じ女性が自分の村へと走って帰り、そしてこう叫ぶのです。「さあ、見に来てください。私のしたことをすべて、言い当てた人がいます。もしかしたら、この方がメシアかもしれません。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』ヨハネ4:29）

この疎外された人は身内になったのです。神の、愛される娘に。神の愛の使者に。

私（ビョルン）が自分のチームを代表してこれらの最後の言葉を、ミネアポリスという美しい都市で書いています—ここは、ジョージ・フロイドの死で多くの人たちに知られる場所です。分け隔てや暴力でそこなわれた場所です。そして私の故郷でもある場所です。

ミネアポリスは他の何かを表してもいます。ダコタ族の母語では、それは「水の都市」を意味しており、そこにある多くの湖



や、それを通して流れるミシシッピ川からとって名付けられた  
ものです。

この都市に、この都市にさえ、希望の理由があるのです。そしてそれはどの心にも触れてどの渇きもいやす、この「生ける水」にあるのです。

### **黙想のポイント**

あなたが自分のコミュニティについて考える時、とても大きな  
分け隔ての原因は何でしょうか？ 排除され、孤立させられ、  
そしてのけ者にされている人たちにはどんな例がいくつかあり  
ますか？

あなたが自分の人生について考える時、以前にどのようにして  
分け隔てられたと感じたことがありますか？ 手を伸ばして変  
えてくれた人は誰ですか？

あなたが自分の心について考える時、あなたを神から分け隔て  
てしまったものは何ですか？ あなたは何を求めて渇きそして  
切望しているのでしょうか？ 「生ける水」を受け取るという  
のはどんなものに見えますか？

### **恵みについての祈り**

親愛なる神よ、

私たちを探し出し、そして私たちをあなたから分け隔てる隔た

りに橋をかけるために、来てくださり、ありがとうございます。私たちの人生のこわれたものを修復してくださり、そしてキリストにあって私たちに尊厳をお与えくださり、ありがとうございます。私たちは、自らをお互いから分け隔て、嫌悪や無関心を生む、多くのものがあることを告白します。主よ、排除され孤独な人たちを見出す目を私たちに与えてください。あのサマリヤ人の女性のようにあなたの恵みによって変えられる心を私たちに与えてください。そして他者に手を差し伸べてあなたの愛を伝えるための勇気を私たちにお与えください。私たちの社会における劇的な変化をあなたに求めます一長い間持たれてきた敵意や争いさえもがいやされるように。他者があなたとの関係から多く飲むことができるように、私たちをあなたの平和の道具に、そして「生ける水」をもたらす者とならせてくださるよう助けてください。これをイエスの御名によって求めます。

アーメン。

### **創作の活動／行動**

今日の祈りの応用として、次の活動か行動のうちの一つかそれ以上を選んで実践しましょう。

1. 典型的に排除されている誰かを探し出して、その人たちにとっての恵みとなりましょう。それは微笑みやあいさつ、あるいは会話を始めることのように、単純かもしれませんが。見過ごされたり無視されている人たちと会ったり話をすることを実践しましょう。
2. 水に近づける湖や公園の近くを散歩してみましょう。神と

あなたの関係の「生ける水」から飲むことがあなたにとって何を意味するのかについて、よく考えてみましょう。あなたの生きてきた経験のうちで神のあがないの愛とゆるしを超えるものはないということを思い起こしましょう。

3. コーヒーやお茶あるいは何かほかの（元気の出る）飲み物を一杯飲みながら、誰かに会ってみましょう。その人たちが体験している浮き沈みについてたずねてみましょう。あなた自身の人生においてイエスとの出会いがもたらした変化について伝えてみましょう。もし適切であれば、そのもう一人の人と一緒に祈ってあげましょう。

今日の祈りの結果として出てきた皆さんの計画や証し、そして個人やグループの感想や体験を、#WWOP21というハッシュタグを使ってソーシャルメディアでどうぞ伝えてください。

チーム：ビョルン・ディクソン牧師（米国）、クリスティーン・ベッカー（ドイツ）、ニコール・カウル（英国）、マット・マークリング（米国）、エフライム・ナシャート（エジプト）

## 第4日目 2021年11月10日（水） 美しさとはゆるしである

今日のサブテーマはゆるしがもつ美しさに焦点を当てたものです。とはいえ、ゆるしは多くの人々にとって実行するのが最も困難な課題の一つではあります。たいていの人々にとって、ゆるしを求めることは難しいのです。多くの場合、ゆるすこともまた、多くの人々にとって難しいのです。

[詩編51:1-6、ヨハネ18:25-27、ヨハネ21:15-17]

### はじめに

これらの聖書箇所を読むことで、私たちは、ゆるしの美德についてよく考えるための助けとなる得られます。ダビデは自らの権力を濫用して結婚している女性であるバト・シェバを搾取し、その夫ウリヤが戦場で死ぬように計らいました。ダビデは神に背を向けたのです。預言者ナタンはダビデを自分の罪深い行いに向き合わせました。詩編51:1-6で、ダビデは罪を告白し、そして神のいつくしみとゆるしを求めました。ヨハネ18:25-27は、シモン・ペテロがイエスの逮捕の後で大祭司の園にいたことを、私たちに伝えています。火のまわりに立っていた人々のうちの一人が、ペテロはイエスの弟子の一人だとわかったのです。ペテロはそれを打ち消しました。それより前に、門番の女性が、ペテロはイエスの弟子かどうかたずねました。ペテロはそれを打ち消しました。それから、その大祭司の僕（しもべ）が、ペテロはイエスの弟子であると告白するよう彼に要求しました。ペテロは、3回目もイエスを知らないと言いました。ヨハネ

21:15-17で、朝食を共にされた後、復活されたイエスはペテロに呼びかけます。この呼びかけは、ペテロがイエスを人前で知らないという行いに対して、イエスがペテロをおゆるしになったという合図でした。ところが、イエスはペテロにきわどい質問を3回もなさるのでした。「ヨハネの子シモン、あなたはの人たち以上に私を愛しているか」(日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』)。3回ともペテロは答えました。「はい、主よ、私があなたを愛していることは、あなたがお存じです」。ペテロは、憤激したものの、イエスの質問が暗示していたことがわからなかったようでした。

## 解釈と応用

竹はイネ科に属しています。その根っこや地下茎は地下で幅広く広がります。新しい稈(かん)(茎)は地表を突き破ります。それらは頑強です。それらは過酷な条件の中で生き残り、そして寿命が長いのです。フィリピンでは、誰かが自分たちにした悪事を自らに思い起こさせるために、竹を植えるという過去の慣習に従っています。これによって、その人たちはゆるすことが難しくなりました。悪事をしでかした者も、仕返しを恐れて、ゆるしを求めるのが難しいと考えることでしょう。フィリピンの大きな島々の一つであるミンダナオ島では、「リド」がイスラム教徒たちの間だけでなく、キリスト者たちの間でも慣習となっています。「リド」とは、「家族や親族の集団同士、およびコミュニティ同士の復讐(しゅう)による暴力の散発的な勃発」です。これが起きるのはたいてい既存の司法制度がないかまたは人々がそれを信頼していない地域です。仲裁の基本的ニーズ

に應えるものではありません。悪事をしでかした者としでかされた当事者がゆるしをすすめるのを助ける制度はたいてい存在していません。

ゆるしを求め、そしてゆるしを発することは、人々がいやしを得て平和を見つけるために、極めて重要です。ただ、ゆるしそしてゆるしを求める過程には、時間がかかるのです。不愉快な目にあわされたほうの人は、傷でくよくよ悩みがちです。不愉快な目にあわせたほうの人は、自分の誇りにこだわり、ゆるしを求めるのを拒みます。ともかく、両者とも傷つく行為や出来事を処理するという困難に直面するのです。ここでその人たちは神の助けを必要とすることを認めなければならないのです。

神がご自身の姿に似せて人間を創られた一方で、創られたものは故意に創造主に背を向けることを選ぶのです。罪は、大なり小なりとも、神に背を向け、私たちや他者にある神の似姿をゆがめることなのです。私たちのような人間たちは、誇りゆえに、自らの罪を告白するのが難しいと考えるのです。けれども、自らの悪い行いを認めて自らをゆるすことが、神や私たちの仲間たちからのゆるしを求める第一歩なのです。

ゆるすことは、加害者の悪い行いを完全に忘れることを意味しません。被害を受け、罪を犯された人のために、犯された犯罪に対する正義がなくてはならないのです。現代の刑事司法制度は、加害者の罪を立証し、法律の規定によって罰することによって、正義を行います。これは応報的司法です。けれども、そこ

にはゆるしが生じる保証はありません。修復的司法では、被害者や加害者たち、そしてその犯罪が苦しめたコミュニティの尊厳と相互の関係性を回復しようと、対話による手法が行われます。修復的司法制度では、ゆるしといやしの可能性が高いのです。

この過程は神のゆるしを求めるための恐れをやわらげるのを助けます。神は愛する神です。人はただ、自らの悪い行いを告白し認める上で、真摯で誠実である必要があるだけです。自らの罪を告白するうえで、ダビデは神へ帰りました。神は人が犯した罪がどんなに大きくともゆるしになります。神の願いは、人間が正しい生活を生き、そして私たち一人ひとりにある神の似姿を真に反映することです。人はただ、自らの悪い行いを告白し認める上で、真摯で誠実である必要があるだけです。ゆるしを求めることにおいて大切なのは、私たち人間が神のゆるしを真剣に受け止め、自らの行動を変えなければならないということです。

ゆるされたほうの人は、神の恵みに対する責任を真剣に負わなければなりません（IIコリント12:9）。シモン・ペテロに対するゆるしは、困難を伴って生じました。イエスはシモン・ペテロに愛を行いに移すよう求めたのです。「私の小羊を飼いなさい」「私の羊の世話をしなさい」「私の羊を飼いなさい」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』）。この求めは、名詞としてではなく、動詞としての、愛についての福音書記者の理解を強調しています。ゆるされたほうの人は今や、とりわけイエスの

「子羊」一弱くて、脆弱で、虐待を受けた人たち、貧しい人たち、疎外された人たち、そして権利を奪われた人々を愛する自由のうちに生きなければなりません。

これは償いであり、「傷または損失に対する報い」、あるいは「失われたり、または盗まれたものが本来の持ち主へ取り戻されること」なのです。償いは完全なゆるしのための必要条件です。イエスはゆるされた人に他者のための人生を生きるよう求めておられます。これは、ヘブライ語聖書にある「隣人を自分のように愛しなさい」という勧めがこだましたものなのです（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』レビ19:18、マルコ12:30-31）。

今日のような感染症のパンデミックという困難な時代にあって女性や子どもたちに対する虐待や暴力の事例が増えてきました。多くの人たちが自分たちの仕事を失い、そして中にはホームレスになった人々もいます。多くの人々、とりわけ若者たちは、メンタルヘルスの問題に苦しめられています。一部の指導者たちや無節操な人々は、この感染症のパンデミックを、他者に対する権力—経済的、政治的、そして文化的な—を行使し、民衆を犠牲にして富と権力を蓄積するための機会として利用してきました。軍事力を使って民族や国々を従属させた人々もいました。さらに困難なことは、コミュニティに対してとても多くの苦難を引き起こす罪深い社会構造をどうやってゆるすのかということです。もちろん、神のゆるしは無償ですが、でも人はあり方を変えて償いをしなければなりません。した



がって、虐待者も、いじめっ子も、搾取の構造も、差別や破壊をするものはみな、一それが階級差別であれ、人種差別であれ、性差別であれ、同性愛者に対する嫌悪であれ、虐殺などであれ一、それらが引き起こした被害を修復する努力をしなければなりません。こわれた瓶を修復する、金継ぎと呼ばれる日本の美術は、償いやゆるし、そしていやしを象徴しています。ゆるしは、傷やこわれたものの傷跡を打ち消すことなく、損なわれた関係を修復するのです。

### 黙想のための設問

- ・私たちはなぜゆるしを求め、そして私たちを加害した人たちをゆるす必要があるのでしょうか？
- ・もしイエスがあなたに「あなたは私を愛しているか？」とたずねたら、あなたは彼に何と答えますか？ あなたはイエスに同じ質問を3回もしてほしいですか？
- ・あなたの信頼を裏切りあなたの人格を侵害する人をゆるすために、何があなたに必要となるのでしょうか？
- ・罪深さとこわれたものに悩まされている世界のただ中であって、私たちはどのように自らの自由を用いて、愛しそしてゆるすことができるのでしょうか？
- ・私達が愛せないものたち一強かん魔、人殺し、抑圧者、植民地支配者、土地の強奪者、そして抑圧的な社会構造などをどうやって愛することができるのでしょうか？

### 恵みについての祈り

美しさと聖なるものの神よ、

あなたは素晴らしい宇宙をお創りになりました。

あなたは驚くべき地球と、その中に喜びに満ちた被造物を創られました。

私たち人間をあなたの似姿にお創り下さったあなたを、私たちはほめたたえます。

それでもなお、どういうわけか、自らの傲慢さのうちに、

私たちは自らの被造物らしさを忘れてしまいます。

私たちはまるで自らがこの地球の創造者であるかのようにふるまっています。

私たちは自らの生活の中にあなたの聖なる似姿を反映することを忘れてしまいます。

私たちは貪欲さゆえに地球を破壊してしまいます。

私たちは自らの生活や仲間の人間を破壊してしまいます。

私たちは自らの傷を大事にしては、ゆるすことがとても難しいと思っています。

私たちは復讐を求める自らの気質を大事にしてしまいます。

私たちは暴力や紛争、そして戦争を喜んでしまいます。

私たちは平和の共同体を築くことを拒んでしまいます。

私たちはこわれた器です。私たちは自己憐憫やこわれたものにふけてしまいます。

私たちがこの世にもたらした自らのあらゆる弱さや、失敗や、醜さゆえに、

おお、神よ、私たちが自らをゆるすのを助け、そして私たちをおゆるしてください。

私たちがゆるしというあなたの恵みの道具になるのを助けてく

ださい。

親愛なる神よ、私たちがこの場所を去るにあたって、  
私たちが自らの独りよがりにならずに安住しないよう恵みをお与えくだ  
さい。

勇気と確固たる意志の強さで私たちに恵みをお与えください。

私たちが努めて自らの関係を修復できるように

お互いに対して

そして地球に対して

アーメン。

### 創作の活動／行動

一人ひとりが加害者と被害者の両方かもしれません。ある時、  
私たちは誰かを傷つけあるいは不愉快な目にあわせたかもしれ  
ませんし、またある時、私たちは悪い行いの対象でした。次の  
提案のうちのどれかをあてはまるように選んでやってみてもよ  
いかもしれません。

1. **街の清掃やゴミ収集作業に携わる人たち\***、ホームレス、  
**障がい者、虐待を受けている人たちのように、この感染症  
のパンデミックにあって社会の隅で困難に直面している人  
たち—とりわけ女性や子どもたち—に、それが歓迎される  
場面で、食事を買うかまたは差し入れてみましょう。**あな  
たが知らないうちに、あなたはその人たちの苦難の原因に  
対して直接的または間接的に加担してきているかもしれま  
せん—構造的に、あるいは他のさまざまなかたちで。あな  
たが差し出す食事は、あなたの加担に対してその人たちの  
ゆるしを求める行為のゆるしになるかもしれません。もし

あなたがあえてゆるしを求める自分の意志を表明するのなら、そうしてもよいかもしれません。神はあなたの真摯な心をわかってくださるでしょう。

※訳注：国によっては被差別コミュニティの人々がこれらの職業につく場合が多いことを反映した記述です。

2. **あなたに悪いことをしたりあなたを傷つけてしまった人たちの一覧表を作ってみましょう。**いくつか石を拾ってきましょう。それぞれの石に、あなたを傷つけてしまった一人の名前を書いてみましょう。それから、それらの石を袋かまたはあなたが持ち運ぶかばんに入れましょう。あなたがその石の大きな重さを感じる時、あなたがその人をゆるした時にだけ、一つひとつの石を手放してみましょう。神はあなたの心をご存じですし、あなたを最後まで助けてくださいます。ゆるすことによってあなたが自分の傷を手放す時、あなたが運ぶ重荷が降ろされるのでしょ

今日の祈りの結果として出てきた皆さんの計画や証し、そして個人やグループの感想や体験を、#WWOP21というハッシュタグを使ってソーシャルメディアでどうぞ伝えてください。

チーム：ムリエル・オレヴィロ・モンテネグロ(フィリピン／香港)、ジェイコブ・パーム(米国)、ジョアンナ・タン(シンガポール)、オロラデ・アレグン(ナイジェリア)、サレム・ジン(ナイジェリア)

## 第5日目 2021年11月11日（木）

### 美しさは他者に仕えることにある

他者に仕えることは、多くのかたちで起こります。私たちが他者を受け入れ、余地を与え、否定的な認識に異議を唱え、そしてゆるしのうちに活動する時、私たちはイエスがもつ僕（しもべ）の心を行動で示すことになるのです。

[ルカ7:36-50]

#### はじめに

「手伝ってくれる？」

トビアスの娘は4歳で、時々、彼のところへかけよってはこう言います。「手伝ってくれる？」。彼女にとっては、彼が自分を手伝ってくれるかどうかたずねるのは、難しくはありません。そして手伝ってもらえると彼女は喜び、さっさと自分がしていたことへ戻るのです。それはこともなげに、「おとうちゃんならできるって！」といった調子。

けれども、いつもこのような調子とは限らず、時にトビアスが彼女を手伝いたがると、その時、彼女はこう言うのだそうです。「やだ、おとうちゃん、わたし自分でできるったら」

古いことわざに、「雄弁は銀、沈黙は金」というのがありますが、私たちが提唱したいのはこれです：もし手伝うことが貴金属だとしたら、それは銀でしょうし、他者に仕えることは金でしょう。今日、私たちが、他者に仕えることの美しさを発見し、そしてイエスがそれをどのように生き抜いたかを見ることにしま

す。

## 解釈と応用

この聖句は、ファリサイ派の家で食事をするようにという招待をイエスが受け入れることについてです。

「招待は済んだ。あのイエスとかいう人物が何を示すのか、みてみよう。今宵は彼一あの新顔が、試される夜となるだろう。彼は自分が何を言っているのかわかっているのか、それとも彼はでたらめだらけで他には何も無いのか？」

ところがものごとは計画通りにはいかないものです。ある女性がその夕べのさなかにその場に入ってくるのですが、単なるありふれた女ではなく、その場にいる人たちにとっては、悪くて汚らわしい生き方の典型的な者でした。けれども彼女は、自らの言葉ではなく、自らの涙で、全ての人々の中でこの物語の主人公となるのです。何という勇敢さをこの女は示していることでしょうか。彼女は「ライオンの巣穴」へと向かうのですから。たぶんあなたはこの感じがわかるでしょう。部屋の中へ入っていき、そこであなたは歓迎されていないと感じる。誰も一言も言わなくとも、あなたに注がれる周囲の目は口ほどに物を言う。「彼女はここで何をしているのか？」「ここに姿を現すなんて、よくもそんなことができるな一恥を知れ！」

死んだような沈黙。けれども誰もが知っているのです！彼女もわかっているのですが、彼女の意図はこの気まずい状況よりもっと重要なのです。彼女はただ、イエスのところへたどり着きたいのです。彼女は彼が他の人たちとは違うと望み、そして

信じているのです。彼女は危険を冒して、自らの存在と行動でこの集まりに押し掛けます。反抗的な態度や腹立たしさでいっぱいのままやって来るではありません。彼女は受容と助けを求めているのです。そしてイエスは何をなさるのでしょうか。初めは見たところ多くのことではなさそうです。彼は彼女を自分に仕えさせてあげるのです！彼女は彼の足を涙で洗い、それを自らの髪で乾かします。とてもへりくだった従順さです。そしてイエスはその通りにさせてあげるのです。

その部屋にいた誰もが、イエスはこれを我慢しようとしなだろうと予想していました。こんなにも「怪しげな」生活を送っている、この女性には。けれどもイエスはものの見方が違いました。彼はこの女性の全てを知っているのです。語られるどの言葉も一言多すぎたのでしょうか。なぜなら彼女は人々が自分について何を言っているかわかっているのですから。けれども彼女は自分の感情を出すことができ、それで裁かれることはないのです。彼女は自らの最も貴いもの、つまり自分の心を、イエスにゆだねることができるのです。油はその象徴です。イエスにとって、この油を使うことは、彼がそれを必要としていなかったとはいえ、むだではありませんでした。彼は彼女の心に受容の余地を与え、そして彼女の行いに応えたのです。これは口ほどに物を言うものでした。

実は、彼女が聞く必要のあったのはこの一言だけでした。「安心して行きなさい」。

興味深いのは、イエスが他の人たちを知らないままに放ってお

かないことです。彼は対話のうちにその人たちに寄り添い、そしてその人たちに教えるのです。大事なのは明白なことではなく、私たちの心の中で起きることであると。

主人のもてなしは丁寧でしたが、暖かくはありませんでした。シモンとその友人たちはイエスを試したいと思っていました。彼らは客ではなく自分たちのことしか考えていなかったのです。その一方で、この女性は、自分が持っていたもの、つまり自分自身を、そして貴重な油を、イエスと一緒にいるこの時が彼女にとってどれだけ大切かを表すものとして、持ってきました。イエスはご自身の注意をこの女と主人の両方に払ったのです。

彼は真心をもってこの女性を受け入れることによって、彼女に仕えます。そして彼は主人に自分自身の心を見るよう要求することによって、彼に仕えるのです。イエスは両者に向き合い、そしてそのどちらも裁くことはしません。これは、他者をいとも素早く裁いてしまう私たちにとって、良い模範です。

今日は木曜日であり、世界中で多くの人々が、レイプや暴力のない世界を求める「#ThursdaysInBlack」キャンペーンに参加している日です。この女性は、日常的な虐待、一方的な価値判断、あざけり、問いただしに耐えなければならない状況におかれたすべての女性たちを象徴しています。しかし、この物語から伝わってくるのは、イエスがこの女性を肯定し、彼女の惜しみない贈り物を認め、彼女が差し出したものを受け容れたということです。イエスが家の主人に対して言葉を発したことは、有害



で差別的な態度に対しては声をあげる必要があることの一つの例です。それは連帯と尊重の表明です。今日、問われていることは、他者を理解し連帯という形で仕え、不正義・暴力に対して立ち上がり、私たちの不当な態度や偏見の対象にされているすべての人とともに立つことかもしれません。世界YWCAの#MyBodyMyMindキャンペーンは、女性・少女の性と生殖に関する健康とメンタル・ヘルスに関わる偏見と支配的な言説に対して異を唱えることを目指すものであり、上記のような連帯のもう一つの例です。

真の奉仕は、相手の求めるものに焦点を当てるものであり、私たちの個人的な信条や意見に当てるものではありません。

真の奉仕は、私たちの仲間の人間のための未来と展望を求めるものです。

真の奉仕は、私たち自身の必要をあとまわしにするものです。でも忘れないでください！あなたはこの世を救う必要はありません。イエスがすでにそれをなさったのですから。

### **黙想のポイント**

- ・あなたは現在、どこで仲間の人間に仕えるよう求められていますか？
- ・あなたにとって、人々を助けるのは、その人たちに仕えるよりもたやすいことでしょうか？ あなたにとって、その違いは何でしょうか？
- ・この女性とこの主人の中であなたが自分自身と同じであるとどのように認めるのでしょうか？
- ・将来において他の人の必要に焦点を当てるのに何があなたに

役に立ちうるのでしょうか？

- ・あなたの行動の中にどうやってイエスを含めることができるのでしょうか？

## 恵みについての祈り

イエスよ、あなたは私たちと私たちの心をご存じです。

私たちはあなたに感謝します。なぜなら、あなたは私たちを放っておかずに、さまざまなかたちで私たちに向き合ってくださいからです。

あなたは人をお裁きになりません。あなたは新しい見方をお与えくださり、そして他の誰にもできないようなかたちで、私たちの心の中をご覧になられます。

あなたが私たちの心を変えて下さるよう、私たちは祈ります。私たちに、自らの仲間である人間に仕えさせてください。その人たちの必要が満たされるように、その人たちが受け入れられ、評価されるように、そしてその人たちがあなたを自らの神として知るようになるように。

私たちは自らの周りで排除されている人たちのために祈ります。私たちがつながりと架け橋を築くのを助けてください。

私たちは可能性を求めて祈ります。人々があなたと真の、そして解き放つ体験をするように。

神よ、私たちが自らの心であなたを愛するように、そして自らを愛するように自らの隣人を愛するように、私たちの心を変えてください。

あなたを通じて私たちはこの世とその次のものに希望と確信を持つのです。

あなたを愛しそしてこの世界をより良いものに変える、奉仕の民となるよう私たちを助けてください。  
主よ、あなたに栄光がありますように。  
アーメン。

### 創作の活動／行動

今日の祈りの応用として、次の活動が行動のうちの一つかそれ以上を選んで実践しましょう。

1. 神のゆるしを直接体験できた自分の体験を、お互いに伝えあいましょう。

あなたが変わることができるように人々があなたに余地を与えてくれた経験はありますか？ たぶんそろそろこれらの人たちに感謝すべき時かもしれません。

この余地がまたは機会をあなたに与えてくれたそれらの人たちの一人に連絡して感謝する時間をいくらかとってみましょう。良いことが起きるのは、私たちがそれらをする時だけです！毎日がこの世界をより良い場所にするための新しい機会なのです。

2. 行動：感謝をあなたのライフスタイルにしてみましょう。  
祈り：あなたの一日の中で時間をとって、人々に仕えるための機会をあなたに与えて下さるよう、神にお願いしましょう。

神が言われることに注意深く耳を傾けましょう。

最後まで従いましょう。あなたの思いを行動で続けましょう。繰り返しましょう。一度では十分ではありません。神をあなたの日の一部にすれば、あなたは恵みを受けて、他者に対する恵

みとなるでしょう。

今日の祈りの結果として出てきた皆さんの計画や証し、そして個人やグループの感想や体験を、#WWOP21というハッシュタグを使ってソーシャルメディアでどうぞ伝えてください。

チーム：トビアス・ネスラー（ドイツ）、ジャビエル・デルガド（コロンビア）、ジャニス・パウダー（ドイツ）、ウエンディ・ラミレス（コロンビア）、ダニイル・トリトナオフ（ロシア）

## 第6日目 2021年11月12日（金） 美しさとはよみがえりである

聖金曜日（聖大金曜日、受苦日、受難日）の絶望は、封印され見張られた墓に、弟子たちがメシアだと思った人間が入っていることで終わります。この歴史上最も暗い瞬間から、神は光へと変化し、そしてよみがえりをもたらすのです。

[マタイ27:59-61、28:1-10]

### はじめに

イースター（復活祭、復活の主日）を祝うカトリックの伝統には、イースター・ヴィジル（復活徹夜祭、復活祭前夜、復活前宵礼拝）の初めに、とても特別な時があります。教会は暗く、灯される明かりもありません。それから一人が灯されたイースターのろうそくを中へ持っていきます。教会へ入る時、彼は「Lumen Christi」と呼びかけます。そして会衆が「Deo Gratias」と答えます。このラテン語の呼びかけは「キリストの光」を意味し、そしてその答えは「神に感謝！」です。

イースターのろうそくは、礼拝者が持ってきたろうそくに明かりを灯すことができるように全ての礼拝者を回り、全てのろうそくはイースターのろうそくの炎から灯されます。これはキリストの復活がどのようにしてこの世界に一人ひとりに、一つひとつのいのちの中へ光をもたらすのか、そしてこの光がどのようにして私たちの周囲を変えるのかを象徴するものです。「光」と「いのち」が暗闇の中へもたらされるのです。

光であるイエスは、私たちの暗闇の中へ輝いていこうとされる

のです。彼の復活をもって、神は変化をもたらすご自身の力を、よみがえらせるご自身の力を、お示しになるのです。変化のための可能性がいつもあるのです。

## 解釈と応用

それは最初、あまりにもすべてが終わったように思えました。2人の女性たちがアリマタヤのヨセフによって備えられた墓の前に座っています。彼はイエスの遺体を十字架から降ろし、ピラトの許可を得て埋葬しました。それが保証されるとは限りませんでした。はりつけにされた人たちはただかけられたままにされることが多かったのです。しかしイエスの遺体はすでにその墓の中にあり、そして大きな、重い石がその前に転がしてありました。弟子たちにとって、イエスと一緒にいた時間が終わってしまったように見えたのです。イエスとともに過ごすあいだに大きくなり続けていた、新しいものへと変化を求める希望は、葬り去られたかのようでした。弟子たちとその2人の女性たちは大きな動揺を体験したのです。

翌朝、地面が本当に揺れるのです。前日は内面が激しく揺さぶられていたかもしれませんが、翌日彼女たちは地面が揺れ動く上を歩いて墓に向かいます。途中で彼女らが目の当たりするのは、その大きな重い石を転がす、墓で明るく光の姿なのです。その姿は彼女たちにこう言います。「恐れることはない!」。この命令は、天使がイエスの母であるマリアのところにやって来てイエスの降誕を告知した時、彼女に与えられたのと同じものでした。神の使いたちとの出会いや彼らのメッセージを聞くことは、最初は恐ろしいかもしれませんが。そのメッセージが私た

ちを怖がらせるからではなく、私たちにはまだ知らされていないこと、私たちが説明できない何かを、聞いたり見たりするからです。たぶん私たちは、自らの勇気がまだ足りないことのために策を講じるよう求められているのでしょう。

この復活の物語の中で、この2人の女性たちはこの言葉を聞くのです。「恐れるな」と。

苦しみ悲しんでいる2人の女性たちはどうやら自らの人生で極めて貴い何かを失ってしまったようです。彼女たちは突然の神の使いに驚きますが、その言葉は彼女たちに強さや喜び、そして希望をもたらします。この使いは、イエスがその墓にはもうおらず、復活されたのだと彼女たちに告げるのです。そして、自分たちで墓の中を確かめに行くよう招きます。神は私たちの疑問や疑いを真剣に受け止めて下さいますし、私たちはそれらを口に出すことができ、そして神はそれらに応えてくださるでしょう。これは弟子のトマスが体験したことでありました。彼がイエスの傷の中に手を入れさせてもらえた時にやっと、彼の前に立っているのが復活のイエスであると信じることができたのです。

この2人の女性たちは複雑な気持ちで墓を立ち去ります。彼女たちは衝撃を受けて、何が起きているのか把握することも理解することもまだできずにいるのです。それでも彼女たちはすでに喜びに満ちていたので、この天使の言う通りに自らの体験を弟子たちに知らせるために出発します。その道中で、イエスご自身が彼女たちにお会いになり、彼女たちに挨拶をされ、そして彼女たちは彼を礼拝するのです。天使との出会いがおそらく彼女たちにイエスと再び会う備えとなり、彼女たちはそれがイ

イエスだとわかったのです。イエスは彼女たちに再び、恐れる必要はないと確信を持たせるのです。私たちの心に根付くためには、何度も聞かなければならないことがあります。この女性たちはそれでもなおその恐れを感じるのですが、すでに喜びが支配しています。イエスの死の後の意気消沈に続いて、終わりではなかった喜びがやって来るのです。これこそがよみがえりの歓喜と希望であり、それはイエスが復活して死に打ち勝ったからなのです。

この復活によって神の力が明らかにされるのであり、この力にこそ、私たちは信頼をすることができ、私たちによみがえりの希望を与えてくれるのです。たとえどんなに多くのものが破壊され、多くのものがこわされても、この復活の証はこの世の苦しみを甘受しない強さを私たちに与えてくれるのです。

復活の希望は私たちによみがえりの美しさを示してくれます。それは私たちがよみがえりと、そして変化を求めて常に望むことができる賜物なのです。何も残されていないと私たちが思う時、神は可能性を切り開いてくださるのです。これはスティーブが次のように体験したことです：

「それは死別のような感じでした」と彼は言い、真新しいYMCAを建てるための土地が自分たちが、信頼していた協力者によって、こっそりと売られていたことを発見した時のことを省みていました。何年もの働きや、何千ポンドものお金、そして若者たちのための希望が、失われたのでした。喪失から回復するのはたやすいことではありませんが、神がそのようなものを用いて異なる成果を創られる時があります。約3年後、2021年11月に、英国のウルヴァーハンプトンにある同じYMCAが、その都



市の別の地域で、自らの新しい施設の開設を祝い、住宅や児童保護、そして地元の若者たちのための訓練施設を提供することになるのです。「神は私たちに何が必要なのかをご存じでした」とスティーブは言います。「全てが失われたと私が思った時、神はよみがえりの道を備えてくださったのです」。

神は私たちに、変化のための可能性と希望を授けてくださいます。

ある地域の青年センターで、何人かの若者たちとの会話の中で、この言葉が何度も出てきました。「それこそありのままの私なんだ！」。

私たちはあきらめて「結局そういうものだよ」と言うかもしれませんが、しかし変化というものはいつもたやすいとは限らず、それには強さや、そして多くの忍耐が必要なが多いのです。イエスには、変化への希望があります。彼はご自身の復活によって、最終状態などというものはないのだということを示されました。よみがえりに向けた過程において、私たちは聖霊の力に頼ることができます。私たちはそれを自力で何とかする必要はないのです。神こそがはじめに創造しておられた方であり、そして神は今も創造しつづけておられるのです。「見よ、私は新しいことを行う。今や、それは起ころうとしている。あなたがたはそれを知らないのか。確かに、私は荒れ野に道を荒れ地に川を置く。」（日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』イザヤ 43:19）

## 黙想のポイント

- ・あなたの人生において、「恐れるな！」と聞くことが大切な状況とは何ですか？
- ・あなたは何を疑っていて、どこで新たな自信が必要なのでしょう？
- ・あなたはどこでよみがえりを切望しているのでしょうか？

### **恵みについての祈り**

主なる私たちの神よ、

あなたは天と地の造り主。

あなたは知恵をもって美しく創造をなさいました。

あなたの創られたものゆえに、私たちはあなたをたたえます。けれども私たちは、自らの世界の中に、こんなにも多くのこわれたものや暗闇を見えています。このことをあなたに申し上げます。

あなたは変化とよみがえりの神。

御子イエス・キリストを私たちの光として、そして私たちの希望としてお遣わし下さったことを、あなたに感謝いたします。驚くべき御子の復活ゆえに、そしてあなたがいつも変化のための道を切り開いてくださることを私たちに示してくださるがゆえに、あなたをたたえます。

よみがえりのための希望を私たちの中に据えてください。私たちの世界のためにあなたの幻を私たちに示してください。そしてあなたの聖霊によって、この世界へと手を差し伸べるために、私たちをお導きください。

アーメン。

## 創作の行動／活動

今日の祈りの応用として、次の活動が行動のうちの一つかそれ以上を選んで実践しましょう。これらのたねダンゴであなたの周囲に変化をもたらしてみましょ。それらを小さな区画に投げて、どんなに色とりどりの花々がそこに育つか観察してみましょ！

### 20個のたねダンゴのために必要なもの：

- ・ 200グラムの粘土
- ・ 200グラムの培養土
- ・ さまざまな土着の花のタネが入った包みを3つ
- ・ 水
- ・ 小さな鉢を1つと大きな鉢を1つ
- ・ 新聞紙

### 手順：

1. 別々の包みから取り出した花のタネを小さな鉢の中で一緒に混ぜましょ。
2. 培養土を大きな鉢に入れ、大きな土の塊があればそれをほぐし、さらに残った樹皮や根っこ、あるいは小枝を取り除きます。それから粘土とタネを加えて混ぜ、そのタネができるだけ平らにまかれるようにします。
3. それから徐々に少しだけ水をその鉢の中に注ぎ、混ぜ合わせたものがクルミの実の大きさぐらいに小さな球の形になるようにします。たねダンゴが水っぽくなりすぎないように注意ましょ。もしそうなったら、粘土と培養土をい

くらか加えましょう。

4. ビスケット生地のように手のひらで転がすのではなく、片方の手で少量の粘土を取って、もう片方の手の指で優しく押しつけてボールにします。これによって、たねダンゴの生地がぼろぼろにくずれたり、ごたまぜになるのを防ぐことになるでしょう。
5. 出来上がった球を新聞紙の上に置き、そのままにして干しましょう。2、3時間おきにそれらをひっくり返し、全ての面を均一に干すようにしましょう。2日ぐらいたったら、あなたのたねダンゴは固まってくるでしょう一庭や緑の草木に「放り出す」準備がよくできてくるのです。

訳注：その場所の状況によって、他者の私有地や公共の場所、植物保全区域などに種を植えることがふさわしくないときもありますのでご注意ください。

今日の祈りの結果として出てきた皆さんの計画や証し、そして個人やグループの感想や体験を、#WWOP21というハッシュタグを使ってソーシャルメディアでどうぞ伝えてください。

チーム：スティーブ・クレイ（英国）、フィル・グレイ（英国）、ピュリティ・ワンジャ（ケニア）、ダンカン・チョウドハリ（世界YMCA）、クラウディア・クーン（ドイツ）

## 2021年合同祈禱週：“こわれたものからの美しさ”

### 集団礼拝

11月13日（土）

下記の詳細は、YWCA/YMCAが各自の地域礼拝を今年の合同祈禱週  
の終わりにつくるのを助ける手引きとして用意されたもので  
す。準備を支援するために、追加資料が[www.ymca.int/week-  
of-prayer](http://www.ymca.int/week-of-prayer)ならびに世界YWCAウェブサイトから利用できます。

11月12日（金）にリアルタイム配信による礼拝が中央ヨーロッ  
パ時間の16時（日本時間の24時）に世界YMCAのフェイスブッ  
クのページでありますので、心に留めておいてください。この  
礼拝は下記の形式に基づいて行われます。

#### 00:00 歓迎と導入

各自の状況に応じたどのような形でも、司式者は参列  
者たちを歓迎し、そして礼拝の導入を行います。

#### 00:03 開会の祈り

司式者： 私たちの父なる神と主イエス・キリストか  
らの恵みといつくしみ、そして平和が、あ  
なたがたにありますように。

一同： そしてあなたにもありますように。

司式者： 今日こそ、主が造られた日です。

一同： これを喜び躍りましょう。

**00:04 歌- 'I' m trading my sorrows,' Darrell Evans**

<https://youtu.be/J4-f7r9hiRM>

この選曲は、この礼拝のテーマ、内容に合ったものとして提案しています。代わりとなる歌を用いて下さってもけっこうです。もしそうであれば、私たちのこわれたものをキリストの平和と喜び・恵みそして愛に代えることをテーマにして、アップビートの歌を選んでください。いくつかの代わりとなる選曲が[www.ymca.int/week-of-prayer](http://www.ymca.int/week-of-prayer)で見つけられます。

**00:08 4人の朗読者:4つの聖書箇所(参列者たちを代表して、多様性を表現する朗読者による朗読)**

朗読1: イザヤ53:1-5

朗読2: イザヤ61:1-3

朗読3: ヨハネ3:16-17

朗読4: IIコリント4:7-10

**00:12 祈り: 静けさ、慰めと平和のために**

**司式者:** 恵みあふるる造り主なる神よ。

**一同:** あなたが私たちとともにいて下さることに感謝します。

**司式者:** 私たちが疲れこわれた時も、イエスは私たちの良き羊飼い。

**一同:** 私たちを緑の野と憩いの汀(みぎわ)の美しさへと導いてください。

**司式者:** 混乱と絶望でこわれた時も、聖霊は私たち

の慰め主。

一同： 私たちの頭に喜びの油とあなたの恵みの平和を注いでください。

アーメン。

#### **00:14 私たちに見えるこわれたもの（礼拝としての創造的な芸術）**

この部分を使って、あなたの礼拝を強めるために、創造的な芸術を選んで演じてみましょう。それには神の恵みと、結果として生じた美しさと並置された、私たちの世界にある「私たちに見えるこわれたもの」に焦点を当てたモンタージュ写真や黙想、詩や踊りを製作するために、事前の準備が必要です。

備考：創作用の資料が[www.ymca.int/week-of-prayer](http://www.ymca.int/week-of-prayer)で利用できます。自由にお使いください。

#### **00:20 説教：こわれたものからの美しさ**

地域のYMCA・YWCAの代表やまたはキリスト教の聖職者に、上記の朗読のうちの一つかまたはこのテーマについてお話いただきましょう。

#### **00:30 諸国のための祈り**

2つの提案を用意しました。1つ選んでください。

##### **1. こわれた破片の十字架**

複数の箱（例：長い花の箱）でできた空間の真ん中に十字架を作りましょう。これらの箱は中に物を入れら

れるように空にしておいてください。その十字架の近くに参列者たちがこわれた破片（例：こわれたタイルやお皿など）を見つけられるようにします。お祈りの間、参列者たちは自らのこわれた破片をその十字架の中へ置くことができます。[代わりにもっと大きな十字架を造り上げて、こわれた破片をその十字架の下に集めていただいてもけっこうです]

### 1. 祈禱の部の始まり

**一同：** 主よ、私たちは自らのあらゆるこわれたものとともに、あなたのところへまいります。

私たちのあらゆるこわれたものをすすんで引き受けようと、あなたは十字架まで行かれました。この犠牲ゆえに、私たちはあなたに感謝いたします。

あなたの愛を確信して、私たちは自らとその世界の中にあるこわれたものを、あなたに捧げます。

あなたがすすんで私たちの重荷や私たちの傷、私たちの痛みを背負ってくださることを知ることができ、あなたに感謝いたします。よみがえりと和解を私たちに約束してください、あなたに感謝いたします。

司式者は、個人的な必要やこの世界の必要を表すものとして、こわれた破片を持っていてそれをその十字架の上に置くよう、参列者



たちを招きます。

参列者たちが参加している間に、奏楽を演奏してもよいですし、または詩編を朗読してもよいでしょう（例えば詩編42:1-7）。

この時間を通じて参列者たちは自らが定めた必要のために黙祷してもよいでしょう。

## 2. 賛美の壁

奏楽の間に、参列者たちは自らのこわれたものから美しさを神がどのようにもたらしたのかを書き留めてもよいでしょう。これは付箋紙や紙と画びょう、黒板などを使ってもできます。

最近の紛争から生まれてほしい美しさに、参列者たちはあらかじめ感謝を示してもよいでしょう。

例えば「\_\_\_\_\_」における紛争の平和的な解決をもたらしてくださり、神よ、あなたに感謝します」

### 00:37 歌- 'Blessed be the name of The Lord,' Matt Redman

<https://youtu.be/tTpTQ4kBLxA>

この選曲は、この礼拝のテーマ、内容に合ったものとして提案しています。代わりとなる歌を用いて下さってもけっこうです。

もしそうであれば、良い時も悪い時も神が誠実でいてくださることへの感謝と賛美の歌を選んでください。いくつかの代わりとなる選曲が[www.ymca.int/week-of-prayer](http://www.ymca.int/week-of-prayer)で見つけられます。

**00:42 主の祈り**

**一同：** 天の父よ

み名があがめられますように。

み国が来ますように。

みこころが天で行われるように 地上でも行われますように。

わたしたちに今日も この日のかてをお与え下さい。

わたしたちに罪を犯した者を ゆるしましたから、

わたしたちの犯した罪を おゆるし下さい。

わたしたちを誘惑から導き出して 悪からお救い下さい。

み国も力も栄光も とこしえにあなたのものだからです。

アーメン。

(日本キリスト教協議会統一訳)

**00:44 祝祷-エフェソ3:20-21**

**司式者：** 私たちの内に働く力によって、私たちが願い、考えることすべてをはるかに超えてかなえることのできる方に、教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々にわたって、とこしえにありますように！

**一同：** アーメン

**00:45 閉会**

## 謝辞

今年の合同祈祷週の冊子を作るための働きと支援について、  
下記の執筆者、翻訳者、そして寄稿者に感謝します。

**ビョルン・ディクソン牧師**(YMCAオブ・ザ・ノースとthe WHY教会、  
米国ミネソタ州)

**クラウディア・クーン**(「希望のしるし」幹事、ドイツYMCA)

**ダニエラ・ゼラヤ・ラウダレス**(プロジェクト・スペシャリスト、世  
界YWCA)

**ダンカン・チョウドハリ**(世界YMCAガバナンス・マネージャー)

**ジョン・フィリップス**(世界YMCA コミュニケーション局長)

**ニマラ・グルング**(YWCA リーダーおよび「ニンブル・クリエイショ  
ン・コンサーン」総幹事、ネパール)

**マシュー・マロック**(青年ワーカー、テイサイドYMCA、英国)

**ミアリー・ソンビニアイナ・ラコトンドラソア**(コミュニケーショ  
ン兼青年担当オフィサー、マダガスカルYMCA)

**ムリエル・オレヴィロ・モンテネグロ博士**(神学者およびAPAY[ア  
ジア太平洋YMCA] 宗教間協力フォーラム・コーディネーター、香  
港)

**フィル・グレイ**(YMCAブラック・カントリー・グループ、クリスチャ  
ン・ミッション・コーディネーター、英国)

**ピュリティ・W・キグアサ**(YMCA リーダー、ケニアYMCA)

**レベッカ・ダニエル**(インドの神学者で、世界YWCAへの長きに  
わたる寄稿者)

**スティーブ・クレイ**(YMCAブラック・カントリー・グループの総主  
事、英国)

**スチ・ガウアー博士**(世界YWCAグローバルな関与と影響担当ディレクター)

**トビアス・ネスラー**(テューリンゲンYMCA青年教育担当幹事、ドイツ)

**聖書日課：「聖書を読むためのエキュメニカル活動グループ」**

**ノルウェー教会援助(NCA)の支援を受けています。**

スペイン語訳担当：**マヌエル・クインテロ**

フランス語訳担当：**ジャン・フランソワ・デルテイル**

デザイン担当：**アリサ・ウィスマルと世界YWCA**

**免責事項：**この礼拝のツールの作成過程では、世界中の若者がクリスチャン・リーダーシップを発揮できるようにすることを目指しました。

この礼拝ツールは、世界中の若い人たちにクリスチャン・リーダーシップを発揮してもらうことを目的としています。本冊子に掲載されている意見は、必ずしも世界YWCAや世界YMCAの立場を反映したものではありません。

本冊子に掲載されているイラストは、世界YWCA-YMCA合同祈禱週の目的でのみ使用することができます。

# 聖書日課 2021年－2022年

## 2021年12月

1日(水) ゼカリヤ 2:1-9  
2日(木) ゼカリヤ 2:10-17  
3日(金) ゼカリヤ 3:1-10  
4日(土) ゼカリヤ 4:1-14  
5日(日) サムエル上 2:1-10  
6日(月) ゼカリヤ 5:1-11  
7日(火) ゼカリヤ 6:1-8  
8日(水) ゼカリヤ 6:9-15  
9日(木) ゼカリヤ 7:1-14  
10日(金) ゼカリヤ 8:1-8  
11日(土) ゼカリヤ 8:9-19  
12日(日) ルカ 1:68-79  
13日(月) ゼカリヤ 8:20-23  
14日(火) ゼカリヤ 9:9-12  
15日(水) ゼカリヤ 10:1-12  
16日(木) ゼカリヤ 11:4-17  
17日(金) ゼカリヤ 12:9-13:1  
18日(土) ゼカリヤ 14:1-1  
19日(日) ルカ 1:46-55  
20日(月) マラキ 1:1-14  
21日(火) マラキ 2:17-3:5  
22日(水) マラキ 3:6-12  
23日(木) マラキ 3:13-18  
24日(金) マラキ 3:19-24  
25日(土) 詩編 2  
26日(日) ルカ 2:29-32  
27日(月) ヨハネ 1:1-5  
28日(火) ヨハネ 1:6-8

29日(水) ヨハネ 1:9-13  
30日(木) ヨハネ 1:14-18  
31日(金) 詩編 46

## 2022年1月

1日(土) 詩編 92  
2日(日) 詩編 57  
3日(月) ヨハネ 1:19-28  
4日(火) ヨハネ 1:29-34  
5日(水) ヨハネ 1:35-51  
6日(木) ヨハネ 2:1-12  
7日(金) ヨハネ 2:13-25  
8日(土) ヨハネ 3:1-21  
9日(日) 詩編 96  
10日(月) ヨハネ 3:22-36  
11日(火) ヨハネ 4:1-26  
12日(水) ヨハネ 4:27-42  
13日(木) ヨハネ 4:43-54  
14日(金) ヨシュア 1:1-18  
15日(土) ヨシュア 2:1-24  
16日(日) 詩編 143  
17日(月) ヨシュア 3:1-17  
18日(火) ヨシュア 4:1-5:1  
19日(水) ヨシュア 5:13-15  
20日(木) ヨシュア 6:1-10  
21日(金) ヨシュア 6:11-27  
22日(土) ヨシュア 7:1-26  
23日(日) 詩編 41  
24日(月) ヨシュア 8:1-29

25日(火) ヨシュア 8:30-35  
26日(水) ヨシュア 9:1-27  
27日(木) ヨシュア 10:1-15  
28日(金) ヨシュア 11:1-15  
29日(土) ヨシュア 20:1-9  
30日(日) 詩編 97  
31日(月) ヨシュア 21:1-3,41-45

### 2022年2月

1日(火) ヨシュア 22:1-20  
2日(水) ヨシュア 22:21-34  
3日(木) ヨシュア 23:1-16  
4日(金) ヨシュア 24:1-15  
5日(土) ヨシュア 24:16-28  
6日(日) 詩編 54  
7日(月) ヨシュア 24:29-33  
8日(火) エフェソ 1:1-6  
9日(水) エフェソ 1:7-10  
10日(木) エフェソ 1:11-14  
11日(金) エフェソ 1:15-23  
12日(土) エフェソ 2:1-10  
13日(日) 詩編 51  
14日(月) エフェソ 2:11-22  
15日(火) エフェソ 3:1-13  
16日(水) エフェソ 3:14-21  
17日(木) エフェソ 4:1-6  
18日(金) エフェソ 4:7-10  
19日(土) エフェソ 4:11-16  
20日(日) 詩編 99  
21日(月) エフェソ 4:17-24  
22日(火) エフェソ 4:25-32  
23日(水) エフェソ 5:1-14  
24日(木) エフェソ 5:15-20

25日(金) エフェソ 5:21-33  
26日(土) エフェソ 6:1-9  
27日(日) 詩編 31  
28日(月) エフェソ 6:10-17

### 2022年3月

1日(火) エフェソ 6:18-24  
2日(水) ヨハネ 11:1-10  
3日(木) ヨハネ 11:11-19  
4日(金) ヨハネ 11:20-27  
5日(土) ヨハネ 11:28-45  
6日(日) 詩編 91  
7日(月) ヨハネ 11:46-57  
8日(火) ヨハネ 12:1-11  
9日(水) ヨハネ 12:12-19  
10日(木) ヨハネ 12:20-26  
11日(金) ヨハネ 12:27-33  
12日(土) ヨハネ 12:34-36  
13日(日) 詩編 35:1-16  
14日(月) ヨハネ 12:37-43  
15日(火) ヨハネ 12:44-50  
16日(水) ヨハネ 13:1-11  
17日(木) ヨハネ 13:12-20  
18日(金) ヨハネ 13:21-30  
19日(土) ヨハネ 13:31-35  
20日(日) 詩編 35:17-28  
21日(月) ヨハネ 13:36-38  
22日(火) ヨハネ 14:1-7  
23日(水) ヨハネ 14:8-14  
24日(木) ヨハネ 14:15-21  
25日(金) ヨハネ 14:22-26  
26日(土) ヨハネ 14:27-31  
27日(日) 詩編 84

28日(月) ヨハネ 15:1-8  
29日(火) ヨハネ 15:9-17  
30日(水) ヨハネ 15:18-25  
31日(木) ヨハネ 15:26-16:4

## 2022年4月

1日(金) ヨハネ 16:5-15  
2日(土) ヨハネ 16:16-23a  
3日(日) 詩編 43  
4日(月) ヨハネ 16:23b-33  
5日(火) ヨハネ 17:1-5  
6日(水) ヨハネ 17:6-11a  
7日(木) ヨハネ 17:11b-19  
8日(金) ヨハネ 17:20-26  
9日(土) ヨハネ 18:1-11  
10日(日) 詩編 55  
11日(月) ヨハネ 18:12-27  
12日(火) ヨハネ 18:28-40  
13日(水) ヨハネ 19:1-5  
14日(木) ヨハネ 19:6-16a  
15日(金) ヨハネ 19:16b-30  
16日(土) ヨハネ 19:31-42  
17日(日) ヨハネ 20:1-10  
18日(月) ヨハネ 20:11-18  
19日(火) ヨハネ 20:19-23  
20日(水) ヨハネ 20:24-31  
21日(木) ヨハネ 21:1-14  
22日(金) ヨハネ 21:15-19  
23日(土) ヨハネ 21:20-25  
24日(日) 詩編 81  
25日(月) Iヨハネ 1:1-4  
26日(火) Iヨハネ 1:5-10  
27日(水) Iヨハネ 2:1-6

28日(木) Iヨハネ 2:7-11  
29日(金) Iヨハネ 2:12-17  
30日(土) Iヨハネ 2:18-29

## 2022年5月

1日(日) 詩編 56  
2日(月) Iヨハネ 3:1-10  
3日(火) Iヨハネ 3:11-18  
4日(水) Iヨハネ 3:19-24  
5日(木) Iヨハネ 4:1-6  
6日(金) Iヨハネ 4:7-16  
7日(土) Iヨハネ 4:17-21  
8日(日) 詩編 66  
9日(月) Iヨハネ 5:1-5  
10日(火) Iヨハネ 5:6-12  
11日(水) Iヨハネ 5:13-21  
12日(木) IIヨハネ 1-6  
13日(金) IIヨハネ 7-13  
14日(土) IIIヨハネ 7-13  
15日(日) 詩編 98  
16日(月) ヨナ 1:1-16  
17日(火) ヨナ 2:1-11  
18日(水) ヨナ 3:1-10  
19日(木) ヨナ 4:1-11  
20日(金) ガラテヤ 1:1-9  
21日(土) ガラテヤ 1:10-24  
22日(日) 詩編 95  
23日(月) ガラテヤ 2:1-10  
24日(火) ガラテヤ 2:11-21  
25日(水) ガラテヤ 3:1-14  
26日(木) 詩編 68:1-19  
27日(金) ガラテヤ 3:15-18  
28日(土) ガラテヤ 3:19-29

29日(日) 詩編 68:20-36  
30日(月) ガラテヤ 4:1-7  
31日(火) ガラテヤ 4:8-20

## 2022年6月

1日(水) ガラテヤ 4:21-31  
2日(木) ガラテヤ 5:1-15  
3日(金) ガラテヤ 5:16-26  
4日(土) ガラテヤ 6:1-18  
5日(日) 詩編 148  
6日(月) 雅歌 1:1-2,7  
7日(火) 雅歌 2:8-3:11  
8日(水) 雅歌 4:1-5:1  
9日(木) 雅歌 5:2-16  
10日(金) 雅歌 6:1-7:10  
11日(土) 雅歌 7:11-8:14  
12日(日) 詩編 93  
13日(月) 士師記 1:1-3.17-21  
14日(火) 士師記 1:27-2:5  
15日(水) 士師記 2:6-23  
16日(木) 士師記 4:1-24  
17日(金) 士師記 5:1-31  
18日(土) 士師記 6:1-10  
19日(日) 詩編 76  
20日(月) 士師記 6:11-24  
21日(火) 士師記 6:25-32  
22日(水) 士師記 6:33-40  
23日(木) 士師記 7:1-15  
24日(金) 士師記 7:16-8:3  
25日(土) 士師記 8:22-35  
26日(日) 詩編 36  
27日(月) 士師記 9:1-6  
28日(火) 士師記 9:7-21

29日(水) 士師記 9:50-57  
30日(木) 士師記 13:1-25

## 2022年7月

1日(金) 士師記 14:1-20  
2日(土) 士師記 15:1-16:3  
3日(日) 詩編 52  
4日(月) 士師記 16:4-22  
5日(火) 士師記 16:23-31  
6日(水) ルツ 1:1-22  
7日(木) ルツ 2:1-23  
8日(金) ルツ 3:1-18  
9日(土) ルツ 4:1-22  
10日(日) 詩編 42  
11日(月) ヨハネ 5:1-18  
12日(火) ヨハネ 5:19-30  
13日(水) ヨハネ 5:31-40  
14日(木) ヨハネ 5:41-47  
15日(金) ヨハネ 6:1-15  
16日(土) ヨハネ 6:16-21  
17日(日) 詩編 73  
18日(月) ヨハネ 6:22-34  
19日(火) ヨハネ 6:35-51  
20日(水) ヨハネ 6:52-59  
21日(木) ヨハネ 6:60-65  
22日(金) ヨハネ 6:66-71  
23日(土) ヨハネ 7:1-13  
24日(日) 詩編 139  
25日(月) ヨハネ 7:14-24  
26日(火) ヨハネ 7:25-31  
27日(水) ヨハネ 7:32-39  
28日(木) ヨハネ 7:40-52  
29日(金) ヨハネ 7:53-8:11



30日(土) ヨハネ 8:12-20

31日(日) 詩編 87

30日(火) 歴代誌上 21:15-22:1

31日(水) 歴代誌上 22:2-1

## 2022年8月

1日(月) ヨハネ 8:21-30  
2日(火) ヨハネ 8:31-36  
3日(水) ヨハネ 8:37-45  
4日(木) ヨハネ 8:46-59  
5日(金) ヨハネ 9:1-12  
6日(土) ヨハネ 9:13-23  
7日(日) 詩編 48  
8日(月) ヨハネ 9:24-34  
9日(火) ヨハネ 9:35-41  
10日(水) ヨハネ 10:1-10  
11日(木) ヨハネ 10:11-21  
12日(金) ヨハネ 10:22-30  
13日(土) ヨハネ 10:31-42  
14日(日) 詩編 53  
15日(月) 歴代誌上 10:1-14  
16日(火) 歴代誌上 11:1-9  
17日(水) 歴代誌上 13:1-14  
18日(木) 歴代誌上 14:1-17  
19日(金) 歴代誌上 15:1-16.25-29  
20日(土) 歴代誌上 16:1-22  
21日(日) 詩編 59  
22日(月) 歴代誌上 16:23-43  
23日(火) 歴代誌上 17:1-14  
24日(水) 歴代誌上 17:15-27  
25日(木) 歴代誌上 18:1-17  
26日(金) 歴代誌上 19:1-15  
27日(土) 歴代誌上 19:16-20:8  
28日(日) 詩編 145  
29日(月) 歴代誌上 21:1-14

## 2022年9月

1日(木) 歴代誌上 28:1-13  
2日(金) 歴代誌上 29:1-22  
3日(土) 歴代誌下 1:1-17  
4日(日) 詩編 49  
5日(月) 歴代誌下 1:18-2:17  
6日(火) 歴代誌下 3:1-17  
7日(水) 歴代誌下 5:1-14  
8日(木) 歴代誌下 6:1-21  
9日(金) 歴代誌下 6:22-42  
10日(土) 歴代誌下 7:1-11  
11日(日) 詩編 39  
12日(月) 歴代誌下 7:12-22  
13日(火) 歴代誌下 9:1-12.29-31  
14日(水) 歴代誌下 10:1-19  
15日(木) 歴代誌下 12:1-16  
16日(金) 歴代誌下 18:1-27  
17日(土) 歴代誌下 18:28-19:3  
18日(日) 詩編 146  
19日(月) 歴代誌下 20:1-26  
20日(火) 歴代誌下 26:1-23  
21日(水) 歴代誌下 28:1-15  
22日(木) 歴代誌下 28:16-27  
23日(金) 歴代誌下 34:1-7  
24日(土) 歴代誌下 34:8-21  
25日(日) 詩編 130  
26日(月) 歴代誌下 34:22-33  
27日(火) 歴代誌下 35:1-19  
28日(水) 歴代誌下 35:20-27  
29日(木) 歴代誌下 36:1-10

30日(金) 歴代誌下 36:11-21

31日(月) 黙示録 16:1-9

## 2022年10月

1日(土) 歴代誌下 36:22-23  
2日(日) 詩編 65  
3日(月) エステル 1:1-22  
4日(火) エステル 2:1-18  
5日(水) エステル 2:19-3:6  
6日(木) エステル 3:7-15  
7日(金) エステル 4:1-17  
8日(土) エステル 5:1-14  
9日(日) 詩編 138  
10日(月) エステル 6:1-14  
11日(火) エステル 7:1-10  
12日(水) エステル 8:1-17  
13日(木) エステル 9:1-19  
14日(金) エステル 9:20-28  
15日(土) エステル 9:29-10:3  
16日(日) 詩編 1  
17日(月) 黙示録 1:1-8  
18日(火) 黙示録 1:9-20  
19日(水) 黙示録 12:1-6  
20日(木) 黙示録 12:7-12  
21日(金) 黙示録 12:13-18  
22日(土) 黙示録 13:1-10  
23日(日) 詩編 38  
24日(月) 黙示録 13:11-18  
25日(火) 黙示録 14:1-5  
26日(水) 黙示録 14:6-13  
27日(木) 黙示録 14:14-20  
28日(金) 黙示録 15:1-4  
29日(土) 黙示録 15:5-8  
30日(日) 詩編 119:161-176

## 2022年11月

1日(火) 黙示録 16:10-16  
2日(水) 黙示録 16:17-21  
3日(木) 黙示録 17:1-6  
4日(金) 黙示録 17:7-14  
5日(土) 黙示録 17:15-18  
6日(日) 詩編 75  
7日(月) 黙示録 18:1-24  
8日(火) 黙示録 19:1-10  
9日(水) 黙示録 19:11-21  
10日(木) 黙示録 20:1-10  
11日(金) 黙示録 20:11-15  
12日(土) 黙示録 21:1-8  
13日(日) 詩編 50  
14日(月) 黙示録 21:9-14  
15日(火) 黙示録 21:15-21  
16日(水) 黙示録 21:22-27  
17日(木) 黙示録 22:1-5  
18日(金) 黙示録 22:6-15  
19日(土) 黙示録 22:16-21  
20日(日) 詩編 90  
21日(月) イザヤ 1:1-9  
22日(火) イザヤ 1:10-20  
23日(水) イザヤ 1:21-31  
24日(木) イザヤ 2:1-5  
25日(金) イザヤ 2:6-22  
26日(土) イザヤ 3:1-15  
27日(日) 詩編 24  
28日(月) イザヤ 4:2-6  
29日(火) イザヤ 5:1-7  
30日(水) イザヤ 5:8-24

## 世界YMCA/YWCA合同祈祷週（日本語版）

---

2021年10月26日発行

訳者 行本尚史・YWCA

発行者 田口 努

発行所 公益財団法人日本YMCA同盟

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号

電話 (03) 5367-6640 FAX (03) 5667-6641

E-mail [info@ymcajapan.org](mailto:info@ymcajapan.org) URL <http://ymcajapan.org/>

---

Attribution-NonCommercial-No Derivatives 4.0 International (CC BY-NC-ND 4.0)



[www.creativecommons.org](http://www.creativecommons.org)

This publication may be redistributed non-commercially in any media, unchanged and in whole with credit given to World YMCA and World YWCA. 2021 Published by World YMCA - World YWCA

A product of World YMCA and World YWCA 2021



**WorldYWCA**

L'Ancienne-Route 16, 1218 Le Grand-Saconnex  
Geneva- Switzerland

[www.worldywca.org](http://www.worldywca.org)

Twitter & Instagram: [@worldywca](https://twitter.com/worldywca)

Facebook: <https://www.facebook.com/worldywca/>



Chemin de Mouille-Galand 1, 1214 Vernier  
Geneva- Switzerland

[www.ymca.int](http://www.ymca.int)

Twitter & Instagram: [@WorldYMCA](https://twitter.com/WorldYMCA)

Facebook: <https://www.facebook.com/ymcas>